

～災害伝承を「映像」でつなぐ～ 災害伝承カードの映像版「**災害伝承番組**」を放映します

長野県では、建設部砂防課と県立歴史館が共同で監修し、建設・砂防事務所や市町村役場等で配布している災害伝承カードの内容を題材とした、初の災害伝承カードの映像版「災害伝承番組」を県内各ケーブルテレビ局で放映します。カードだけでは伝えきれない災害の臨場感や先人たちの教訓を映像で紹介することで、幅広い世代に自然災害を「自分ごと」として捉えていただき、災害意識の向上と災害被害の軽減につなげます。

1 放映開始日

令和8年11月2日(月)から、順次県内各ケーブルテレビで放映

2 放映番組

(1) 宇原川(災害復旧記念碑)(須坂市)

見どころ

土石流災害の記憶を後世へ伝える復興の証

番組概要 ※詳細は別紙

昭和56年(1981年)に発生した土石流災害の記憶を後世に伝える「災害復旧記念碑」を題材に、被災の様子や復興までの歩みを紹介します。被災者の体験談を通じて、災害の恐ろしさや、地域で教訓を受け継ぐことの大切さを伝えます。

(2) サンヨリコヨリ(伊那市)

見どころ

約600年前の洪水の教訓を今に伝える地域の祭り

番組概要 ※詳細は別紙

応永34年(1427年)の大洪水をきっかけに始まった伝承行事「サンヨリコヨリ」を題材に、地域に受け継がれる災害の記憶と防災の教訓を紹介します。祭りを通じて、洪水への備えを次世代へ伝えます。

3 その他

砂防課HPと長野県技術管理室公式Youtubeにも掲載しています。

砂防課HP <https://www.pref.nagano.lg.jp/sabo/saigaidensyobangumi.html>

長野県技術管理室公式Youtube <https://youtube.com/@pref.nagano-gijukan?si=NvT0f9akuknTzzam>

4 過去の災害に学ぶページ (<https://www.pref.nagano.lg.jp/sabo/manabu/manabu.html>)

過去の災害を地域の防災に役立てるため、災害伝承カード、災害伝承カレンダー2026を公開しています。

この機会に今一度、地域の災害伝承を確認しましょう。

(問合せ先)

担当 建設部砂防課調査管理係 森田、林

電話 026-235-7315 (直通)

026-232-0111 (代表) 3464

FAX 026-233-4029

メール sabo@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)

担当 長野県立歴史館 新津

電話 026-274-3991 (直通)

026-274-2000 (代表)

FAX 026-274-3996

メール rekishikan@pref.nagano.lg.jp

(1) 宇原川(災害復旧記念碑) (須坂市)

- ・昭和 56 年 (1981 年) 8 月 23 日、台風第 15 号に伴う豪雨により発生した土石流は、須坂市仁礼地区を襲いました。
- ・この災害では 10 名の尊い命が奪われ、道路などにも甚大な被害が発生しました。
- ・宇原川沿いに建立された災害復旧記念碑には、犠牲者への追悼の思いとともに、痛ましい記憶を風化させないため復興までの歩みが刻まれています。
- ・須坂市では、災害が発生した 8 月 23 日を「市民防災の日」と定め、毎年慰霊祭を行うなど、防災・減災意識の向上に取り組んでいます。
- ・番組では、当時の被災者へのインタビューを通じて、災害の恐ろしさや教訓を後世に伝えます。



(2) サンヨリコヨリ (伊那市)

- ・応永 34 年 (1427 年) に発生した大洪水により、藤澤郷片倉にあった天伯社は流失し、桜井地区を経て川手地区へと流れ着いたと伝えられています。
- ・三峰川を挟む桜井地区と川手地区の縁を今に伝える祭りが「サンヨリコヨリ」です。
- ・この祭りは、洪水をもたらす疫病神 (鬼) を見立てた大人を子どもたちが叩くことで災いを鎮める神事であり、毎年旧暦の七夕にあたる 8 月 7 日に行われています。
- ・番組では、先人から受け継がれてきた伝承や祭りの意味を守り伝えようとする地域住民の思いを紹介します。

